

ID ^{注1)}	251106	公開レベル ^{注1)}	C	保管形式 ^{注1)}	紙・電子	保管場所 ^{注1)}		前回ID	241106
-------------------	--------	----------------------	---	---------------------	------	---------------------	--	------	--------

報告書名称 /調査名称	令和6年度白神山地ニホンシカ対策 植生ルートセンサ調査						発行年月/報告年月																																																							
							2025年	3月																																																						
							資料形式 ^{注2)}	報告書																																																						
調査機関	東北地方環境事務所			委託機関	株式会社 森林保全研究所																																																									
調査開始年	2020年	9月	調査期間	2024年	10月	～	2024年	10月																																																						
調査頻度 ^{注2)}	毎年		調査時期 ^{注2)}	秋																																																										
モニタリング計画	2022年7月	改訂	区分 ^{注2)}	ⅡB	大区分 ^{注2)}	2	小区分 ^{注2)}	(3)																																																						
調査箇所・範囲 ^{注3)}				調査手法																																																										
☒ 核心地域 ☒ 緩衝地域 ☒ 周辺地域 ☐ GPS等の位置データあり				<p>◆調査期間 令和6年度10月3日～17日（※調査地点によってカメラ設置期間は異なる）</p> <p>◆調査地点 ・令和4年度実施区間のうち、林道閉鎖によりアプローチできなくなった追良瀬川の2区間を除外した8区間について、ルートセンサを実施した。 ・令和5年度と同様に【3-1笹内川】は土砂の流入や河岸の浸食の影響のため、調査区画を変更して調査を実施した。</p> <p>◆調査方法 ・調査区間（100～200m）を踏査し、両側（片側5m範囲）について目視によりシカの食害を探索し、食痕を発見した場合は植物種名及び株数と分布面積の記録する。 ・調査区間もしくは往復の行程で確認されたモニタリング対象種を記録・撮影を行う。 ・調査区間に確認された食害・嗜好性指標種の記録を行う。 ・調査区間踏査後に、区間の食害頻度及び食害強度を記録する。</p> <p>※この他にニホンシカ対策として以下の調査を実施した。 【ボイストラップ調査】（業務委託）※機材回収は環境省職員実行</p> <p>《これまでに実施した調査項目及び調査方法》 ・ライトセンサ（2016～2018年） ・ボイストラップ調査（2018年～） ・越冬適地解析（2019年） ・ルートセンサ調査（2020年～） ・スポットセンサ調査（2020～2021年） ・広域食痕調査（2022年～）</p>																																																										
<p>※周辺地域における調査箇所は備考欄に示す。</p>																																																														
結果概要（スペースに収まるように入力してください）																																																														
<p>【食害の程度】 食害株数は全体で183 株が確認された。 食害頻度は、ほとんどの区間で1%未満であったが【R3-1 笹内川】で1～10%であった。 食害強度はほとんどの区間で「1」であったが、【R4-1 水沢川源頭】では「2」となっていた（表1）。 食害が確認された植物種は合計9 科13 種であった。食害株数が多いものはウババミソウ（114 株）となっていた。なお、モニタリング対象種については食害の確認されなかった。 今年度調査では糞や新鮮な食害が見つからなかった。</p>				<p>表1 区間毎の食害株数・頻度・強度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区間名</th> <th colspan="4">青森県側</th> <th colspan="4">秋田県側</th> </tr> <tr> <th colspan="2">大滝又沢</th> <th colspan="2">暗門川</th> <th colspan="2">笹内川</th> <th>水沢川源頭</th> <th>粕毛川源頭</th> </tr> <tr> <th>区間番号</th> <th>R1-1</th> <th>R1-2</th> <th>R2-1</th> <th>R2-2</th> <th>R3-1</th> <th>R3-2</th> <th>R4-1</th> <th>R4-2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食害株数(株)</td> <td>30株</td> <td>35株</td> <td>22株</td> <td>15株</td> <td>30株</td> <td>15株</td> <td>35株</td> <td>1株</td> </tr> <tr> <td>食害頻度(%)</td> <td>～1</td> <td>～1</td> <td>～1</td> <td>～1</td> <td>1～10</td> <td>～1</td> <td>～1</td> <td>～1</td> </tr> <tr> <td>食害強度</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【食害頻度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1%未満 ・1～10% ・10～25% ・25～50% ・50%以上 </div> <div style="width: 45%;"> <p>【食害強度】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1: ごく僅かな食害 2: 大半の株は、成長や繁殖に支障をきたさない程度の軽度の食害 3: 一部の株に強度の食害や矮性化がみられるが、群落レベルの衰退はない。 4: 一部では群落レベルで、強度の食害や矮性化が生じている。 5: 多くの群落が強度の食害を受けており、群落の消失が危惧される。 </div> </div>						区間名	青森県側				秋田県側				大滝又沢		暗門川		笹内川		水沢川源頭	粕毛川源頭	区間番号	R1-1	R1-2	R2-1	R2-2	R3-1	R3-2	R4-1	R4-2	食害株数(株)	30株	35株	22株	15株	30株	15株	35株	1株	食害頻度(%)	～1	～1	～1	～1	1～10	～1	～1	～1	食害強度	1	1	1	1	1	1	2	1
区間名	青森県側				秋田県側																																																									
	大滝又沢		暗門川		笹内川		水沢川源頭	粕毛川源頭																																																						
区間番号	R1-1	R1-2	R2-1	R2-2	R3-1	R3-2	R4-1	R4-2																																																						
食害株数(株)	30株	35株	22株	15株	30株	15株	35株	1株																																																						
食害頻度(%)	～1	～1	～1	～1	1～10	～1	～1	～1																																																						
食害強度	1	1	1	1	1	1	2	1																																																						
<p>東北地方環境事務所西目屋自然保護官事務所 〒036-1411 青森県中津軽郡西目屋村大字田代字神田61-1 TEL:0172-85-2622 FAX:0172-85-2635</p> <p>《原本（データ）の帰属について》</p>																																																														

注1) 「ID」「公開レベル」「保管形式」「保管場所」については記入しないこと。

注2) ドロップダウンリストから該当する項目を選択すること。

注3) 該当する項目の口をクリックし、チェックを入れる。

表2 食痕株数・頻度・強度の経年比較

県		青森県側								秋田側	
河川・登山道名		大滝又沢		暗門川	横倉沢	追良瀬川		笹内川	笹内川	水沢川 源頭	粕毛川 源頭
区間No		R1-1	R1-2	R2-1	R2-2	旧3-1	旧3-2	R3-1	R3-2	R4-1	R4-2
食害株数 (株)	R2	2	40	-	15	12	8	1	55	-	29
	R3	478	656	8	0	27	55	39	711	99	5
	R4	27	27	15	58	7	32	87	116	43	1
	R5	39	50	2	22	-	-	51	28	42	17
	R6	30	35	22	15	-	-	30	15	35	1
食害頻度 (%)	R2	～1	1～10	-	～1	～1	～1	～1	1～10	-	1～10
	R3	1～10	1～10	～1	～1	～1	～1	～1	1～10	1～10	～1
	R4	～1	～1	～1	～1	～1	1～10	～1	1～10	～1	～1
	R5	～1	～1	～1	～1	-	-	1～10	～1	～1	～1
	R6	～1	～1	～1	～1	-	-	1～10	～1	～1	～1
食害強度	R2	1	3	-	1	1	1	1	3	-	2
	R3	2	2	1	1	1	1	1	3	2	1
	R4	1	1	1	2	1	1	1	1	2	1
	R5	1	1	1	1	-	-	1	1	1	2
	R6	1	1	1	1	-	-	1	1	2	1

塗色部は、食害株数が多かった区間、食害頻度が1%以上の区間、食害強度が2以上の区間をそれぞれ示す。

令和2年度は【2-1暗門川】及び【4-1水沢川源頭】にて調査が行われていない。

【横倉沢2-2】はアクセスの変化、【笹内川3-1】は土砂の流入により、令和4年度のルート区間で調査ができず、代替ルートでの調査となっている。

【食害程度の経年比較】

《食害株数》

全体8区間では、令和2年度から令和3年度で大きく増加したものの、令和4年度から令和6年度にかけて減少している。

《食害頻度》

いずれの年も10%未満と評価されており、現状ではシカ等による利用の程度は低いといえる。なお【3-1笹内川】は、食痕株数は令和4年度よりも少ないものの、土砂の流入による植生の減少の影響から、相対的に食害頻度が高まったため、令和5年度に引き続き、令和6年度も食害頻度は1～10%未満となった。

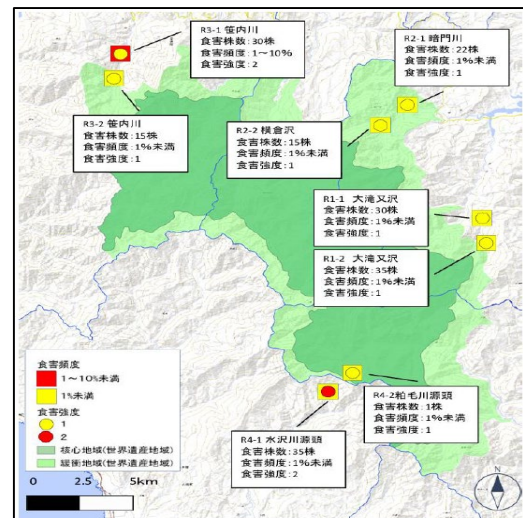
《食害強度》

【不嗜好性指標種について】

白神山地不嗜好性指標種の一覧と令和4年度から令和6年度にかけてのルートセンサスにおける確認状況を表3に示す。

令和6度のルートセンサスでは、5科7種の不嗜好性指標種を確認した。食痕が確認されたシュウモンジシダについては、確認された982株のうち食痕は2株であり、令和4年度・令和5年度と同様に確認株数に対して食害株数がごく少数であった。

不嗜好性指標種の生育状況の記録は、今後二ホンジカによる食害が拡大した場合に食害の影響を受けにくく、増加する可能性がある



※国土地理院タイル(標準地図)を加工して作成

図1 ルートセンサスの結果

表3 白神山地不嗜好性指標種及び令和6年度ルートセンサスでの確認状況

No.	科名	種名	不嗜好性指標種		R4ルートセンサス結果		R5ルートセンサス結果		R6ルートセンサス結果	
			白神岳 山頂草地	区分なし (文献情報)	確認株数	食害株数	確認株数	食害株数	確認株数	食害株数
1	コバノイシカグマ	ワラビ		○						
2	ヒメシダ	ミゾシダ		○			50			
3	オンダ	シラネワラビ		○	3000		500		550	
4	オンダ	シュウモンジシダ		○	617	7	1025	3	982	2
5	センリョウ	ヒトリシズカ		○						
6	センリョウ	フタリシズカ		○			43		42	
7	シュロソウ	コバノイシソウ	○							
8	ユリ	カタクリ		○						
9	イネ	ススキ		○	51		50		20	
10	イネ	コチヂミザサ		○	8※		24※		22※	
11	キンポウゲ	ニリンソウ		○						
12	ユズリハ	エゾユズリハ		○						
13	ミカン	ツルシキミ		○						
14	ミカン	サンショウ		○						
15	キョウチクトウ	イケマ		○			1		1	
16	シソ	クサギ		○			17		1	
17	シソ	ナギナタコウジュ		○			1			
18	キク	トウゲブキ	○							
19	ガマズミ	ニワトコ		○						
計	14科19種		2種	17種	4種	1種	9種	1種	7種	1種

塗色部は、令和6年度ルートセンサスでの確認種を示す。

※ケチヂミザサを確認